

OB会 だより

各地の四季
シリーズ・No.4



白い花咲く梨の特産地・蓮田市

私の住む蓮田市は、県内有数の梨の特産地として知られており、主に幸水、豊水、新高などの品種が8月上旬から10月下旬ころまで出荷されています。

4月には白い花がたくさん咲きます。そのままでも実はつくが、小さかったり歪だったりするので、いい実をつかせるために1つのかたまりで1輪だけ人工授粉させます（小さかったり歪になった実は、5月以降に摘果作業を行う）。授粉作業は花粉にピンクの着色剤を混ぜ、風の穏やかな日にやります。上を向いてやるから首が痛くなり、神経も使うきつい作業です。

機械化が難しく重労働なことから、近年廃業する梨農家が増えており、この光景も段々見られなくなってきています。（金子仁志）

3 年ぶりの再会にうれしい!!

仲間っていいね

総会の様子…

2月19日10時30分 医療生協さいたま本部第一会議室、55名の仲間が揃った会場は、海老塚副会長の開会挨拶で始まりました。

議長（鈴木智子・川口恵子）書記（西村米子）の選出に続いて、富田会長は挨拶のはじめにこの間に亡くなられた高橋喜長さん、大嶋政子さん、荒垣克己さん、田代健太郎さんに黙とうを、続いて喜寿のお祝いが石丸乾二さん、金井東望子さん、榎原庸恵さんに贈られました。OB会全国連絡会、埼玉民医連のメッセージ紹介、役員改選では仲村敬子さん、山口昭子さん、金子仁志さんが退任となりました。小田政満さんは幹事から会計監査

に、金子さんはHP担当を、仲村さん・山口さんにはOB会だより発行や地域活動に今後のご協力をお願いしました。2022年度活動報告、次年度計画、会則の変更、会員アンケートは岡村事務局長から、



会計報告・次年度予算は小島会計担当、監査報告は若杉会計監査が報告、新役員を富田会長が提案、これらの総会議案は全て全会一致で承認されました。

懇親会…

「コロナ禍ですが、みなさんに会えるのを楽しみにきました」と茨城から駆けつけた山形文子先生の一声から始まり、総会初参加の秩父の原島清さんはケアセンターさきたまの管理を、加入して間もない松川朋子さんは9人の孫の成長が楽しみの毎日、総会を機に再加入した小宮マキ子さんは皆さんと一緒に楽しみたいと大井の仲間と一緒に参加しました。



初参加の
原島さん
松川さん
小宮さん

今年 94 歳を迎えた権田圭助さんは各地にレッド・パーズ問題の講演に出かけるなど治安維持法犠牲者同盟でも活躍中です。96 歳となる寺島萬理子先生は、「あと 4 年で 100 歳です」と歌集「卒寿を超えて」を出版、多くの読者を元気づけています。秩父の武内さんは 90 歳の現在、秩父に縁のある野口雨情始め台湾や桜の研究などを続け出版を準備しています。

松本幸子さんは加須地域で訪問介護を続け、週 1 日の休日を今日は楽しみに参加しました。千葉に住む岡本泉さんは古希を迎え「もうそろそろかな」と思いながらも病院勤務でコロナとの闘いの日々です。

神作信男さんは心房細動・心臓弁交換の手術を受けましたが元気に活躍中です。松倉さんの司会で進ん

だ懇親会の最後は、高橋昭雄先生の最近の様子を知りたいと権田さんの質問に、武内さんが「先生は施設に入所しています。コロナ禍でもあり面会は困難ですが体調に特別の変化はないと思います」との事でした。

会場は久しぶりに会えた喜びがあふれ、「懇親会タイム」を延長するなど予定変更もしましたが時間は待ってくれません。「これからも元気に過ごし、来年もお会いしましょう」と、渋谷菊男さんのギターに合わせ 3 曲を合唱。最後はいつものようにみんなで肩を組んで「頑張ろう」の歌。高橋雄一さんの閉会挨拶、全員の記念写真など、すべての予定は 12 時終了しました。

元気で 90 代の 3 人



寺島先生

権田さん

武内さん

みんなの作品展・・・

コロナ前と変わらないたくさんの方が作品が揃いました。21 人から寄せられた油彩・水彩画・書・墨絵・絵手紙・ぬり絵・各種の手芸品等々。ポシエット・バック・パッチワーク・手編みの帽子、壁飾り、ネックレス等々、中には雑誌の表紙に掲載された作品もあるなど。着物のリメイク、ベストやパンタロン、ブラウスなど、ところ狭しと並びました。日頃から忙しい中にも、趣味に、お楽しみにと、豊かに過ごしている仲間の様子が伝わってきました。





仲村敬子さんは 28 年、
山口昭子さんは 10 年、
長い間 OB 会役員として
活躍いただきました。



仲村さん

山口さん

会場内いろいろ...

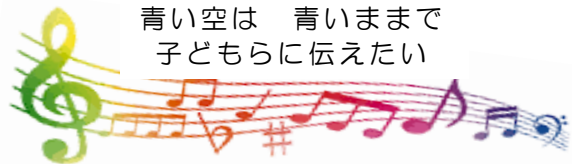


寺島先生を囲んで、山形文子
清水礼二先生が楽しそう

総会感想・会員通信から

- ★大変な中、開催準備をしていただきありがとうございました。参加者も前向きで、発言及び作品展への出展など元気をもらいました。
- ・趣味の活動は「この指とまれ」の中心者が負担にならないようにと

青い空は 青いままで
子どもらに伝えたい



思います。OBは気心も知れ、気持ちよい付き合いができますが、地域のサークルなどでいろいろな人と付き合うことも大事だと思います。(佐藤優子)

★特別なこともなく総会が終了できてよかった。会場も和やかな雰囲気を感じられました。プログラムは資料に入れてほしかった。金子さんが「これは生協ではない。お弁当の塩分が多い」と言ってましたが同じ意見です。総会中は資料の袋詰、弁当の準備で忙しく、会場の様子を見る事はできませんでした。あちこちでお喋りの輪が広がっていました。やはりよかったと思いました。歌の輪も!!
何も心配せずに総会が持たれるようにと思いました。(前田文代)



新入会員紹介



小宮 マキ子さん

高齢になり何かと体力的にも厳しい毎日です。こんな時代だから頑張らなくて
はと、背中を押されながらの再加入です。地域の皆さんと頑張っていきます。

原子 美千代さん (老健みぬま在職中です)

やっぱり 民医連が大好き!

そんな気持ちを再確認できそうです。よろしくお願ひ致します

宮崎 稔子さん

医療安全管理者として埼玉協同病院とふれあい生協病院の立ち上げの準備を
しています。よろしくお願ひします。



2023 OB会お花見会



長瀬の桜トンネル 金子仁志



蔵王・松川沿いの桜 浦川恵子



松山城を望む 愛媛・和田美津保



東武動物公園は私の散歩道
小田政満



桜の下で健康づくり 松倉徳子



ひろーい芝生広場
埼玉県農林公園・深谷
千野久子



トトロの森の一つ「淵の森」



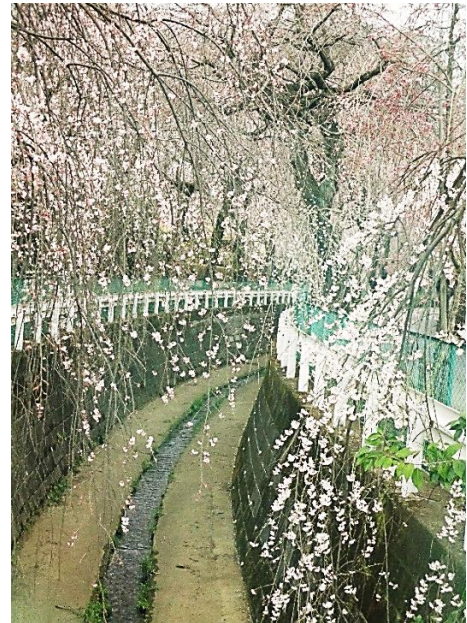
渋谷菊男



樹齢 800 年 北本市の石戸蒲桜 石丸乾二



宮城白石川・千本桜 岡村和夫



所沢・砂川堀のしだれ桜 山口昭子



なつかしの一枚
2015年4月 秩父生協
病院職員歓送迎会。ケア
ステーション建設前の土地
にみんなが集まった。
(山本康夫)

秩父と舞姫桜

森鷗外生誕 160 周年によせて

武内 優

森鷗外の処女作「舞姫」は我が国の近代文学史上不朽の名作とされています。「舞姫」は若い日本人の軍医とベルリンの貧しい踊り子・エリサとの悲恋物語です。この小説の主人公の相手役のモデルは何と埼玉県秩父の武島務なのです。

この度、森鷗外生誕 160 周年にあたり、縁あって舞姫桜の苗木を入手しました。そこで舞姫と関わりのある市内太田地区に苗木の提供を申し入れた所、町会から快く受け入れていただき雨宮植物園の手を借り、太田公民館を始め町内 10 カ所に植樹しました。

武島務が生まれた家は曾祖父の時代から漢方医と知られ、武島務は四代目を継ぐ医師として期待されていました。明治 19 年、武島務は森鷗外と共にドイツに派遣されます。しかし上官から謂れのない讒言により帰国命令が出されます。幸い無実とわかりますが免官処分を受けます。その後、不測の事態により実家からの仕送りが途絶え窮乏生活に陥ります。それにもめげず勉学に励みますが、病に侵され念願だった称号・ドクトル・メジチーネは手にすることが出来ず帰国目前の明治 23 年 5 月 17 日、ドイツ郊外のドレスデンで亡くなり、異国の地で永眠しているのです。享年 27 でした。



舞姫桜

数多くの桜の中、新しく誕生した舞姫桜は武島務の生まれ変わりのようです。成長したこの桜はみごとな花を咲かせ、見る人たちを迎える事でしょう。

(昨年、秩父歴史文化伝承館において発表したものです)



医療生協さいたま 30 周年 新たな一歩を踏み出しています

富田 孝博

2月5日 大宮ソニックシティに組合員・職員 324 名、川口フロンティアに 210 名が参加し「医療生協さいたま 30 周年記念式典」が開催されました。OB会も案内をいただき大宮会場に代表 5 名が参加しました。

ウクライナ生まれのナターシャ・グジーさんのステキな歌声で始まった式典、私はウクライナの状況を静かに訴えているような歌声に感動しました。

来賓として大野埼玉県知事の挨拶、次に医療生協さいたまの「30 年間のあゆみ」が上映されました。大野博元専務の話もあり、6 単協の合併は「合併してから変わるのでなく、変わってから合併しよう」との理念を基調に、当時の組合員 12 万人を 1 件 1 件訪ねた訪問活動が展開された歴史が語られました。30 周年にふさわしい「温故知新」現役の皆さんにバトンタッチできるふさわしい内容の話だと思いました。最後に守谷先生から「ここは通過点、事業と運動を粘り強く継続しましょう」の閉会挨拶の呼びかけがありました。医療生協の組合員・職員は、今後 40 年～50 年にむけ新たな一歩を踏みだしている確かな力と意気込みを感じました。記念すべき式典に参加でき光栄でした。



私の近況



私のコロナ生活

松本 光正

皆様、お元気でなによりです。コロナもいよいよ五類に移るよう嬉しな次第です。私のコロナ生活は、ワクチンもせず、マスクもせず、消毒もせず、もちろん防護服も着ず手袋もフェイスガードもせずで過ぎていきました。超近接、濃厚接触の診察の翌日、看護婦さんから「昨日の患者さん PCR 陽性でしたよ」と何回言われたことか。それでも感染せずに元気に楽しく毎日過ごしています。一億総右へならえの世のなか、私のような変人が一人や二人いてもいいのではないのでしょうか。

どちらが幸せかな？

吉原 恵美子

「老後は一人暮らしが幸せ」という本を読んでいます。妻を亡くした私の父と同居し、11年後の昨年その父を亡くし、今は私の妹との2人暮らしです。父は一人暮らしが継続不可能になり長女の私が同居しました。今回妹と2人になり、せっかく2人なんだからとプラスになる生活を送ろうと思いましたが、一人暮らしと考えた方がどちらかと言うと幸せになると、近頃感じています。



今年は北陸へ一人旅を

加藤 たいこ

国立劇場で前進座の「雨あがる」を観劇しました。動機は歌手の松原健之が出演していたから。生の歌声を聴きたかったからです。以前「ラジオ深夜便」で作家の五木寛之氏が推薦したい歌手に彼をあげていました。それまでは全く知らない歌手。以来CDをくり返し聴き、その澄んだ歌声と叙情詩的歌は私の感性にはまりました。特に“内灘愁歌”や“金沢望郷歌”は一晩中聴いていてもいい!! 「雨あがる」での歌声は若い時のままでした。今年は歌を聴きながら、北陸へ一人旅しよう。

ネコ可愛がりもほどほどに

梅原 恭子



今年1月中旬 息子の引っ越しに伴い3歳の雄ネコが我が家へ。名前は“滝松”。舌を噛みそうなので「タッキー」が愛称。男前、座っている姿がきまってる、鳴声がかわいい、鼻すじ通っている、眼が理知的と、夫婦であらゆる賛辞を惜しまないが、タッキーはどこ吹く風とストーブの前で寝てばかり。ケチな夫婦も、この室温ではタッキーが風邪をひくと室温を少し高めに設定。ネコ可愛がりもほどほどにせなと自省中なり。ボランティアに医療生協にと忙しい日々です。

憲法守り 安心できる社会を望みます

佐藤 良子

いつまで続くのか？ 物価高、軍拡など心配のニュースばかりです。私達国民が安心して聞くことのできる話はほとんどありません。こんな時こそ政治がものいふべきではないかと思えます。何もしない自公の政治家たちが半数以上では国民の安心は得られません。また、こんな時に憲法をかえて戦争の準備に税金を使おうとしています。私は憲法を守って国民が安心できる社会を望みます。

市議選にOB会の仲間が立候補

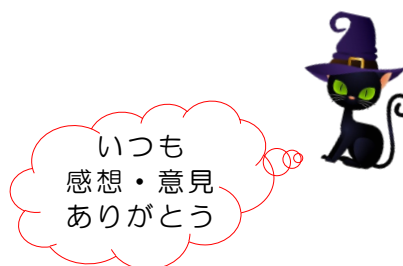
所沢市議に 矢作いづみさん（現）

加須市議に 松本幸子さん（元）

一斉地方選挙後半戦に、二人の仲間が立候補します。

OB会有志として2人の候補者に応援・激励の必勝

祈願ポスターを届けました。富田会長の力強い文字は大きな励ましになると思います。投票日は4月23日です。



♪ OB会だより いつも楽しく読ませていただいております。新しい会員さんの紹介で以前一緒に働いていた方が「退職して今感じるのは、よく働いたなあ」という心の奥から出た言葉がありました。自分に置き換えて、「私もそうだったなあー」と共感し、とても懐かしく思いました。

各地の四季シリーズでは、各地方の写真で見どころを楽しむことが出来ました。ぜひ、行田の花手水を見に行きたいと思っております。（島田喜久江）

♪ いつも通りの期待にたがわぬOB会だより、本当にありがとうございます。

年賀状特集は、皆様の“才”に敬服しました。

寺島先生の短歌に肅然とした気持ちになりました。（梅原恭子）



◆ 訂正をお願いします。

153号で紹介の新加入者は、日下泰子です。文字が違っていました。

◆ 総会資料の「会員の一言メッセージ」追加してください。

高橋正幸さん 元気にデイサービスに行ってます。出かけるのが楽しみです。

西方加津代さん 元気になるよう毎日5000歩めざして歩いています。



OB会のひろば



短歌

川柳

岸田くんミサイル買うなら銭をくれ
どなたかな声かけられたがマスク内
満月にハシゴをかけて行った夢

栗原 和子

藤田 悦子

訪ね来し友の会話は同じこと
くり返したり他人事ならず
あれこれと予定を書きし手帳みて
認知予防と励まし納得
長年の日記をつける習慣を
認知予防と息子は揶揄す

寺島 萬理子

ニュースには腹立たしきこと多くして
権力の横暴勝手気ままに
五十坪の敷地いっぱい建て子の家は
三坪のテラスに季節を知る
仕事なき時間を埋める読書なり
図書館通いが喜びとなる
(歌集「卒寿を超えて」より)

俳句

五行歌

失っていくもの
多い 老いの日々
自分を支える
何がないと
後ずさりする

巻田 幸子

田中 チエ子

九条が貴男にビンタ春一番
ひとつ傘悪夢の昼や核武装
行く春やコロナの正体棚の上
水野 ひさ子
花見舟下りて夕べの日本橋
ひもすがら芽吹く雑木の風騒ぐ
春耕の鋤を追いゆく朝鴉
一人静 宮谷 忠
ありありと二つの笑窪山笑ふ
木漏れ日を纏ひて一人静咲く
向日葵とふ映画見しこと蘇り





春爛漫 山本康夫

私の一枚



赤くなるのが楽しみ 田添紀江



のどかなひと時 富田孝博



我が家のひな飾り 浦川恵子



美味しい野菜を育てます 千野章夫

あ と が き

3年ぶりに開催された総会、仲間の様子を伝えたいと意気込んでいたら計画よりページ増に。掲載できなかつた方、すみません。次号になります。紙上お花見会、今年も各地の桜が揃いました。お楽しみいただけただしょうか。マスクを外してみんなで出かける日が待ち遠しいですね。(よ)



隣の庭をのぞいたら 小田政満



鴻巣ひな祭り 石丸乾二

ホームページをご覧ください。毎月更新しています

